

A I と国際の平和及び安全に関する 安保理ハイレベル公開討論ステートメント（仮訳）

李在明（イ・ジェミョン）韓国大統領による時宜を得たこの公開討論の開催について、心から歓迎いたします。

議長、

A I は我々に革新的な機会を提供するものですが、そこで得られる利益を最大化するためには、A I のリスクを軽減し、「安全、安心で信頼できるA I」を実現するための国際的なガバナンスの構築が急務です。

このため、日本は、2023年に「広島A I プロセス」の立上げを主導し、国際指針や行動規範を策定しました。この国際行動規範を順守する企業の履行状況、これを確認するための「報告枠組み」も立ち上がっています。

安全と信頼を確保しながらイノベーションを促進することが重要であり、日本としては、引き続きグローバル・サウスを含めた世界におけるA I の利用・開発環境の向上やガバナンス構築を後押しする取組を続けてまいります。

特に、軍事領域におけるA I の活用は、省人化・省力化、市民の保護などの利益をもたらし得る一方で、誤用・悪用の可能性やエスカレーションを招くリスクが存在するということを認識する必要があります。

国際の平和及び安全に資する形でA Iの活用をするためには、A Iの能力及び限界について国際的な共通理解の醸成を図ることに加え、能力構築支援やグッドプラクティスの共有が重要となります。

加えて、軍事領域におけるA Iに関する理解を深め、責任ある利用に向けた現実的かつ実践的な取組を推進することもあり意義です。

日本は、人道と安全保障の視点を勘案したバランスの取れた議論を通じ、国際社会において共通認識が得られるよう、引き続き国際的な議論に積極的かつ建設的に参加してまいります。

議長、

A I進化のスピードに遅れないよう、グローバルに安全、安心で信頼できるA Iを実現するためには、各国間の協力が必要不可欠です。

本公開討論が、各国の協力体制を構築していくための一助となると確信しております。

ありがとうございました。

(了)